

／ → 小指で「Enter」 実行      ○ → 空白「スペース」

息を/つめる //      ／ → 親指で「スペース」 変換

○呼吸を/おさえて、/じっとしている。//

○息を/つめて/次の/投球を/見守る。///

/

えりを/正す ///

○服装や/姿勢を/きちんとして、/まじめな/気持ちで/事に/当たる。/態度を/改める。///

○先生からの/忠告を/えりを/正して/聞く。///

/

うり/二つ ///

○二人の/人の/顔や/姿が、/たいへんよく/似ていること。///

○笑い顔が/父に/うり/二つと/言われる。///

/

手を/にぎる //

○仲直りをする。/協力して/事に/当たる。/同盟を/結ぶ。///

○両国は、/過去の/わだかまりを/捨て、/固く/手を/にぎり/合った。///

/

明けても/暮れても ///

○夜が明けても/日が暮れても。/昼も/夜も。/毎日。/いつでも。//

○明けても/暮れても/ひたすら/練習に/打ちこむ。///

/

文明開化///

○西洋の/文化を/積極的に/とり入れ、/世の中が/急速に/進歩すること。///

○文明開化で、/ちょんまげは/なくなった。/

#### 変換のタイミング

文節ごとが好ましい

文節とは、文を言語として不自然にならない限りで、最も細かく区切ること。話口調で「ネ」をいれると成立する区切り

句読点「、」「。」も含めて変換

ねこの/手も/借りたい///

○非常に/いそがしくて/人が/足りない。///

○引っ越しでねこの手も借りたいほど/手が/足りない。///

/

息を/のむ

○息が/止まる/ほどに/おどろく。/はっとする。//

○白く/かがやく。/山なみの/美しさは/息を/のむ。//

/

手を/貸す///

○仕事を/手伝う。/手助けを/する。//

○石段を/のぼる/おばあさん/手を/貸す。///

/

どろぼうを/とらえて/なわをなう//

○事件がおきてから/あわてても/間に合わない。/準備を/しないで/行き当たり/ばったりで/するのを/いましめ/ること/は/。

○どろぼうを/とらえて/なわを/なうの/ではなく/。/ひごろから/用意せよ。///

濡れ手で/栗 ///

○なんの/苦労もなく/大きな/利益を/得ること/。/楽は/大もうけを/すること//

○宝くじが/当たり/濡れ手で/栗の/大金を/つかむ。//

ひざを/交える///

○へだてなく/同席する。/ ひざを/ふれあうようにして/打ちとけて/話し合う。///

○かんきょう/問題について大臣と/住民が/ひざを/交えて/話し合う。///

/

ミイラ/取りが/ミイラに/なる//

○人を/探しに/行ったまま/帰って/来ない。/ 人を/説得は/行って/逆に/説得される。///

○呼びに/行かせたら/、ミイラ/取りが/ミイラに/なって/、帰って/来ない。///

/

会心の/笑み///

○自分の/したことに/対して/満足し/、思わず/にっこり/笑うこと。///

○見事/三振に/うちとって/、会心の/笑みを/浮かべる。///

/

寝耳に/水///

○思いがけない/出来事や/知らせは/おどろくこと。//

○自分の作品が/特選に/なるとは/寝耳に/水だ。///

/

口を/そろえる//

○大ぜいの/人が/同じことを/言う。///

○口を/そろえて/反対する。///

ひざを/打つ ///

- なるほど/感心したり、急/に思いついたりして、ひざを/たたく。//
- 「/いい考えが/ある」/と思わず/ひざを/打つ。///

良薬は/口に/苦し ///

- 自分の/身のためになる/忠告ほど/聞くのが/つらいものだ。//
- 良薬は/口に/苦しと、耳に/痛い/忠告を/素直に/聞く。///

泣きっ面に/蜂 ///

- 不幸な/上に/さらに/不幸が/重なること、つらい時/に/つらいことが/重なること。///
- 転んだ/拍子に/さいふをなく/泣きっ面に/蜂だ。///

気は心 ///

- 少ない/気持ちが/こめられて/いること。//
- 気は心で、少しですが/おめし/あがりください。//

青菜に/塩 ///

- 急に/元気が/なくなり/がっかりすること。//
- ひどく/しかられて/青菜に/塩と/なる。//

空前絶後 ///

- 今までは/例がなく、これから/も/起こり/そうもないと/思われること。///
- 映画は/空前絶後の/大ヒットとなる。///